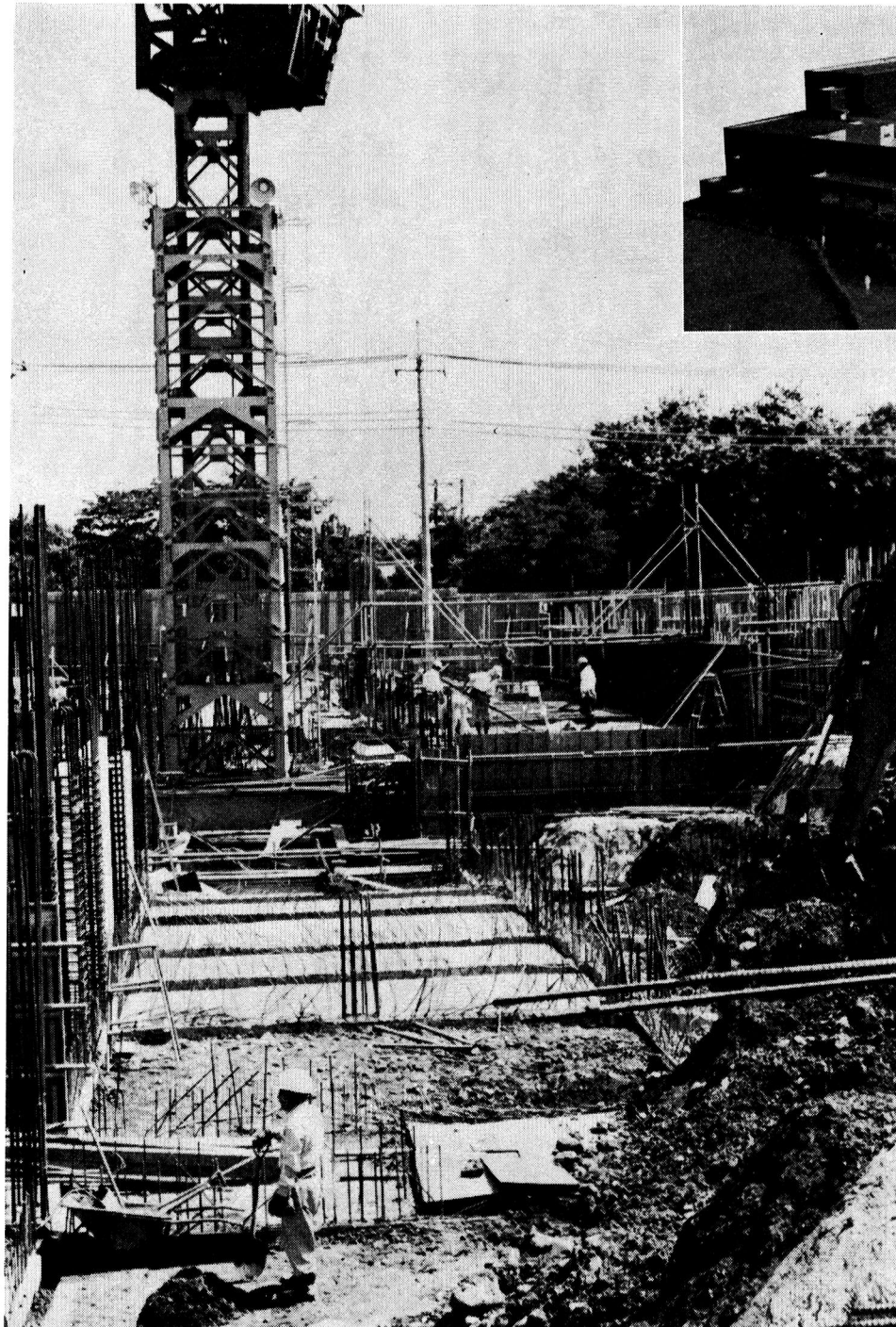
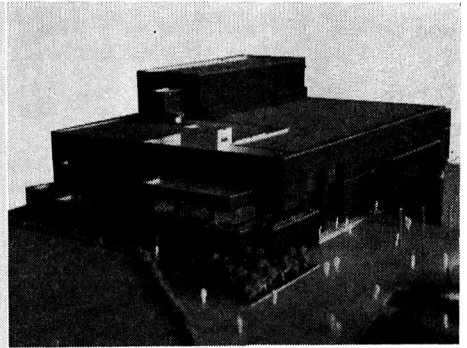


議 会 報

ふっさ

No. 28

昭和51年7月20日
 福生市議会事務局
 ☎ 0425-51-1511(代)



仮称 市民会館の建設工事が急ピッチ

来年三月の完成をめざし、福祉会館の隣にいま着々と工事が進んでいます。現場には高いクレーンもあり、地震などの安全対策につき万全を期すよう、議員からも市長側に意見も出ています。この建物には、大・小ホールをはじめ公民館や図書室など多目的な施設が予定され、これが完成すると若い人から老人まで、多くの市民の教養や文化活動の場として利用が期待されます。

写真は、地階部分の工事。右上は、完成模型。

第二回の定例会が、六月十一日から二十三日までの会期で開かれ、一月に市長が報酬等審議会に諮問した議員や市長等のほか、消防団員、非常勤職員の報酬、給与の引き上げ案、七月一日の市制記念日に表彰する議案三十六件、そのほか補正予算が決まりました。

一日目の十一日には、五月の市長選挙で再選された市長から、市民福祉と市政進展のため身を尽くすとの、意も新たな挨拶があり、続いて八議員からの一般質問を行って終わりました。

翌日に二日目を開き、市長から出された五十一議案の審議に入り、報酬給与の引き上げ案のう

第2回 定例会

ち、消防団員関係を除く四案は、討論の後賛成多数で可決し、そのほか全員一致で表彰関係三十二件を可決、議員、職員の期末手当支給案を委員会付託し、十三日からは、委員会活動等のために本会議は休会とすることを決めて終わりました。

三日目の二十三日には、委員会付託となっていた七議案のほか、議員から意見書四件が出され、一般会計予算は討論の後に賛成多数で可決、そのほかはそれぞれ原案のとおり全員一致で可決し、十三日間の定例会を閉会いたしました。

審 議 日 程

6月	11日	本会議・一般質問
	12日	本会議・議案審議
	15日	建設委員会
	16日	総務委員会 厚生委員会
	18日	議会運営委員会
	23日	本会議・委員長報告・議案審議

A・B農地の課税が軽減

宅地と農地の差の七〇%

昭和四十八年から段階的に、A・B農地について宅地並み課税されてきましたが、地域開発や区画整理事業等のおくれで、生産緑地制度の運用面から、今回国の地方税法が改正されたことにより、市税条例（固定資産税）及び都市計画税条例の一部改正案が可決されました。

なお、対象農地は約四百数十件で、この減収は約千八百八十万円となっています。

▽改正条例の主な内容△

- ①五十年から五十三年度までの三年間耕作する農地を対象
- ②対象にならない面積は、区画整理事業の完了地区の連たん面積が〇・一五ヘクタール（十五アール）以下、その他の地区は〇・一ヘクタール（十アール）以下
- ③減額は、A・B農地の宅地並み課税額と純農地課税額との差額の七〇%で適用申請は、毎年一月三十一日までに申告（五十一年度分は七月三十一日まで）
- ④申請による減額可否は、農地課税審議会で決定する
- ⑤減額対象農地が該当しなくなったときは、直ちに市長に申し出ること

一般会計 **2,430** 万円を補正
総額65億6,700万円となる

▽歳入△

五十年決算で約一億千万円の剰余金が見込まれ、そのうち二千三百万円を繰越金として補正し、そのほか老人ホームの利用者負担金や社会福祉協議会でやっている友愛訪問事業の精算による返還金等を含め、合計二千四百二十九万四千円の補正額。

▽歳出△

今回、議員や市長等をはじめ消防団員や、教育委員等の非常勤職員の報酬の引き上げ案が可決されたことによる必要経費千七十四万円、老人福祉費や生活保護費等の返還金、又、当初予算でごみ処理の委託料を前年度より六%アップとみて計上したが、一〇%アップとなったので三百十六万八千円を補正、市内の樹林地等の保全奨励金として四百万円、福生駅自由通路関係の人件費と附帯工事で二百九十一万五千円、これらを補正し、予算の総額は、六十五億六千七百八千円となります。

用語の ミニ解説



▽議会の招集 議会を開くための招集権は市長だけに認められており、議員定数の四分の一（六人）以上の議員から、案件を示して臨時会の招集請求を市長にできます。ただし、いつ開くかは市長の判断によります。市長が招集告示をする場合、緊急以外は開会日前七日までに告示しなければなりません。したがって議会をいつから開くかは、一週間前にならないと確定しないこととなります。

▽定例会 法律で毎年四回以内、条例で定める回数を必ず開かなければならないとされ、福生市では三月、六月、九月及び十二月の四回開かれています。定例会には、市政全般にわたる一般質問があるので、理事者側も答弁準備などで忙しいようです。

▽臨時会 定例会月以外に必要がある場合に限り開かれ、議会に提出する案件は必ず予め告示しなければなりません。ただし、急施案件の場合は告示しなくても提出できます。又臨時会には一般質問ができません。昨年一年間で六回の臨時会が開かれ、あまり多いのは好ましくないとされています。

一 般 質 問

第2回定例会では
8人の議員が一般
質問を行いました

三階建ての図書館

五十三年度には着手

質問 去る六月の選挙で四たび市長に当選したが、選挙公約の、①中央図書館の建設、②地域会館の建設、③公共下水道の全域完成④中小企業者への助成、⑤福祉優先とは何か等について聞きたい。
市長 ①財政も苦しいので国に補助金獲得の折衝をしており、五十三年度には着手したい。

第2回定例会を

傍聴された方々

(敬称略)

- 土田 国 明
- 原田 数 雄
- 岩崎 信 行
- 杉山 義 和
- 佐藤 三 郎
- 小野沢 久 久
- 河合 保 夫
- 原田 歌 子



議 会 を 傍 聴

しまししょう

次の定例会は

9月に開かれます

ぎり会館」が完成、本年度は熊川地区に計画、その後は青梅線を中心に東西に建設したい。施設の活用のため最低限の職員は必要となる。

③現在の第一期工事は五十二年で完了、五十三年度から第二期を計画中であり、六十年で終わる予定である。総工事費約五十億円は起債が主であり、完成後の返還金は年三億五千万円程度となり、返せると思う。

④大型店進出による影響を市内の業者が乗り越え、りっぱな商店になっていただき、又、福生駅西口再開発の調査会も近く活動するようなので、商工会を通じて助成したい。

⑤行政としては、老人、身障、保育等平均的にやるべきである。真の福祉とは、連帯感、思いやりの心、郷土愛等を市民自身で学びとる環境づくりをしていくことだ

と思う。
企画財政課長 ①計画案としては、三階建て、面積二千五百平方メートル、建設費約六億八千六百万円で、半分以上を補助金、残りは起債をあて、あまり市の財源を使わないようにしたい。

安全管理に

市職員を配置

—下水道工事—

質問 最近下水道工事が盛んに行われているが、これら業者に対して、

補助金の洗い直しは

第三者機関で検討

質問 市の行財政洗い直しのため、昨年プロジェクトチームを編成し、検討してきたと思うが、その状況を聞きたい。

して、市はどのような事故防止策を指導しているのか。

下水道課長 工事の方法によって安全管理を指導しており、長期になる場合は、安全会議を開き、市職員を一人配置して事故防止につとめている。地盤は砂れき層が多いため、崩壊事故がないよう安全確保をしていきたい。



収入没

昨年十二月にプロジェクトチームを十五人で編成、国民健康保険料率、税金の前納報奨金超過負担、保育料等の改定問題について検討をし、すでに議会で決定したのものもある。又、補助金についても検討をしたが、義務的な負担金や委託金を除くと、五十年間で約九十一件の一億千四百四十万円となっている。この中には私立幼稚園児や町会の会館への補助金をはじめ、全国基地協議会等の外郭団体の負担金もあり、過去の実績もあるなどむずかしい面もあるため、できれば第三者的な機関を設置して検討したらどうかという答申をした。なお現在は委員十七人で各種窓口事務の手数料等についても検討している。

支障はない

長時間保育

質問 保育園は保育に欠ける乳幼児の施設とされ、児童福祉法が生かされていないと思う。市立すみれ保育園の長時間保育や、市立つくし保育園の土曜日午後における保育について聞きたい。

福祉事務所長 すみれ、つくし保育園とも午前八時から午後五時までやっている。すみれの場合の五時以降は、希望園児も少ないのでやっていない。つくしでは午後四時四十五分まで保母六人、それ以降は四人でやっている。問題はパート三人がみている。

民間では、園長と保護者が協議し、土曜の午後もやっている。市からもなるべくやるようお願いしていきたい。

質問 私立保育園の給食も脱脂粉乳を使っている園もあり、市からの補助金も使途をはっきりすべきと思うがどうか。

福祉事務所長 給食費は、おやつを含め三歳児以上が月三千二百十八円、三歳児未満は四千六百二十七円と決まられており、脱脂粉乳の栄養が牛乳より劣ることもないと思うし、年二回、きびしい都の監査もあるので心配ないと思う。

福生市休日診療の利用状況

(単位人)

区 分 月	科		小 児 科		計
	市 内	市 外	市 内	市 外	
7	24	6	70	18	118
8	41	11	69	18	139
9	24	9	72	18	123
10	20	7	48	14	89
11	28	14	74	24	140
12	144	14	330	4	492
1	235	4	192	12	443
2	40	6	77	20	143
3	35	12	79	29	155
計	591	83	1,011	157	1,842

他に入院患者11人 (S50.7~S51.3)

プール利用の時間

延長するのは困難

質問 七月から市営プールが開かれるが、勤労青年等から時間を午後六時過ぎまで延ばしてほしいとの声がある。又、子供は自転車

か。教育長 開場は午前十時から午後六時までやっているが、午後四時以降の利用者は少ない。時間を延長した場合、職員の疲労度や夜間の水温低下による健康上の問題等から考え、時間の延長は困難である。

プール専用バスの運行は、現在ある市の二台のバスも毎日利用されておいて、民間バスを借りるとしても利用時間が集中していて、財政上や運用面から困難である。なお子供の交通安全について、十分対策をとっていききたい。

質問 夏休み中に海、山へ出かける家庭も多いと思うが、宿泊料が高いことを考え、市民が安く手軽に利用できる海や山の家を設置したらどうか。

市長 他市では、土地の取得がしやすい時期に建設されたのが多い。当市としては、図書館や地域会館等の社会教育施設ができ、福生に任んでよかったという環境づくりをするまでは、がまんしてほしいと思う。

市内循環バスの運行

委託してもできない

質問 当市は細長く公共施設も離れており、又、各閉地間を結ぶためにも市内循環バスを走らせてはどうか。

秘書職員課長 現在、立川バスが田園地区の閉地から牛浜駅まで

保健センターの建設で
夜間診療も可能に

質問 医師会の協力で休日診療もでき、市民から感謝されている。この利用者は福生市民だけでなく他市町からも来ていることを考えれば、広域診療として、今後建設される都立保健所内に夜間診療を併設したらどうか。

市長 休日診療所も保健センターとするため、国の補助金があれば五十二年度ごろには着手し、夜間診療もできるようにしたいと思うが、予定される都の保健所内にするか、市独自でやるかという点とは、医師会の考え方が優先するものと思う。

環境保全課長 昨年七月から今年三月までの休日診療状況は、千八百四十二人、入院されたのが十一人、一日当たり平均三十五人と

なっている。なお休日診療の病院として、福生病院、大聖病院、目

の路線を運行しているが、利用者が少ないので採算がとれないとして、住宅公団が援助している状態である。市が委託してやると年に千万円以上はかかり、公益性や財政上からも困難と思う。



白病院にお願いしている。

組織を通して

改善運動をする

— 五日市線 —

質問 国電五日市線の利用者も急増し、本年中には秋川市に公団住宅ができるようであり、沿線の宅地化等から今後ますます利用者が増加すると思う。朝のラッシュ時における東京直通は一本だけであり、七時前後の本数もふやすべきだと思う。又、無人の熊川駅もホームの屋根や国鉄職員の配置について運動すべきだと思うがどうか。

市長 組織的な運動として三鷹・立川間立体化複々線促進協議会や八高線電車化促進期成同盟会でも、青梅線や五日市線の改善等について運動をしている。又、秋川流域の五日市線改善促進協議会があり、当市は加入していないので、できれば仲間入りし、ともに運動

議 会 日 誌

日	議 事 内 容
4月 9日	都議長会臨時会
19日	議会運営委員会
23日	第三回臨時会
26日	全員協議会
26日	仮称市民会館及び公民館建設特別委員会
27日	八高線電車化促進期成同盟会陳情
27日	関東議長会総会 防衛庁陳情
5月 6日	三多摩上下水(第三委員会)
19日	三鷹・立川間立体化複々線促進協議会
20日	都議長会定例会
26日	全国議長会定期総会
27日	三多摩上下水(第二委員会)
31日	立川・横田基地対策連絡協議会総会
6月 2日	都市下水路組合議会
7日	議会運営委員会
8日	八高線電車化促進期成同盟会総会
11日	福生市青少年問題協議会
12日	第二回定例会(第一日目)
15日	第二回定例会(第二日目)
15日	全員協議会 建設委員会

をしていただければと思う。こうした組織を通して、駅の改造や増発について運動していきたい。

非行防止の総合対策 年内には結論を出す

質問 近隣市町に比べ、福生は非行件数が多いが、市はどう対処していく考えなのか。これから夏休みをひかえ、市民に非行防止を呼びかけるべきだと思うがどうか。

市長 青少年問題については、青少年問題協議会、教育委員会、警察関係等、広範囲にお願いしているが、大切なのは家庭の関係である。非行の温床となる空屋の善処方を関係者や警察に協力をお願いしている。夏休み中の非行防止も関係機関にお願いすると同時に一定の行事についても準備中である。

社会教育課長 市の構造や人口等によって件数も違ってくる。青少年問題の総合的な対策をたてるため、今後専門の講師を招き、年内には結論を出していきたい。又夏休み中の非行防止についても広報等でPRしたい。

質問 生徒の非行原因は、家庭や学校側にも責任があると思われクラブ活動の盛んな学校には問題が少なく、過去に非行防止の活動として「家庭の日」を設けたが、その後はどうなったのか。

教育長 青少年問題協議会の幹事会で、青少年の育成について意見交換や、地区活動への援助、相談等をしてきた。全体としての一声運動とか家庭の日等の推進について今後も討議をしていきたい。夏休み中、一声運動を実施することになっている。

質問 以前に議会で「健康都市宣言」をしたが、健康都市としての施策を聞きたい。

教育長 行政としては市民が文化やスポーツ活動を通し、健康な心身を養うための環境づくりをすることであり、体育館もその役割りを果たしていると思う。又、指導者の育成が大切であるので、講習会等を開いて、資質向上につとめたい。

社会教育課長 市民の健康維持と増進のための環境づくりをしなから、社会体育活動等を通して健

騒音訴訟支援は 条約上しない考え

質問 福生、立川、昭島の住民が横田基地公害に対して訴訟を起こした。都ではこれに協力する意向であるが、福生市としてはどうするか。

市長 騒音被害については、行政の立場から努力不足と認識している。横田基地は民間飛行場と違って国の問題であり、訴訟という

**農地課税審議会委員
を推せん**

今回、市街化区域の農地に対する固定資産税と都市計画税の減額について、調査審議する農地課税審議会ができることになり、議員から次の人を推せんすることになりました。

○ 竹田 政勝 熊川1307

第二期工事を計画 六十年に下水道完成

質問 公共下水道事業の第一期工事として現在約百三十一ヘクタールを実施しているが、六十年までには全城を完成させるには、かなり進捗しないと困難と思うが、今後の計画はどうか。

下水道課長 第一期工事は四十八年度から着手し、五十年で第一期計画の四〇％が完成、五十二年で七〇％、五十二年には一〇〇％という目標で進め、五十三年度からの第二期工事として残り全城、五百三十五ヘクタールの計画を立案中であり、秋ごろに申請をして、六十年には完成したいと思う。



設置予定の散水器 二小が四小に変わる

質問 今年もPTA連合会から要望書が出されたが、どう対処していく考えか。又、中学校の給食について聞きたい。

教育長 全校共通の破損修理は予算がつき次第やる。通路舗装は本年度四小を予定、散水器設置は一中のほか二小を予定したが、増

- 16日 総務委員会
- 厚生委員会
- 18日 議会運営委員会
- 19日 仮称市民会館及び公民館建設特別委員会
- 23日 第二回定例会(第三日目) 全員協議会
- 25日 西多摩衛生組合協議会
- 28日 福生伝染病院組合協議会

意見書

第二回定例会で意見書四件が議員から提出され、可決されました。

▽市町村国民健康保険事業に係る国庫負担金増額に関する意見書

市町村国民健康保険事業は、制度発足以来、地域保健の特性を活かし今日まで着実に発展してきましたが、相次ぐ医療費の値上げと経済変動により、その財政事情は極度に悪化の一途を辿っております。

各市町村は、この事態に対応して保険税(料)率の改定、適正賦課等あらゆる方途を講じて健全運営に努力しておりますが、今後の推移についてはまさに憂慮にたえない状態であります。

就中、老人医療費の無料化と高額療養費の法定給付化によるものは、給付費の異常な増加となり、最大の赤字要因となっております。

築工事のため四小に回し、テレビのカラー化は財政上検討したい。映画、演劇の公費負担は、実施していない学校もあるので相談したい。体育館のいすは百五十脚ずつ配置してあり、会議用の机は教室にあるものでも可能と思う。

中学の給食問題は、議会で、関係者の意見を聞いて実施に努力するように、との報告で請願が採択されたが、給食が始まった当時から食糧事情も変わり、給食の是非論も出ているが、教育委員会では今後も検討していくことになっている。

調査会も活動開始

商工会通し市も援助

—西口再開発—

質問 懸案となっていた福生駅東西自由通路もできることになり又、福生駅西口再開発についての調査会も活動を始めるというこの機会に、若い商店主、商工会、市が一体となって進めるべきと思うが、市の方針はどうか。

市長 各商店関係の人が積極的のプランを立て、西口再開発の調査会を組織すべく人選も終わったと聞いているが、これは大事業であり時間もかかるわけだが、予算も必要となるので、商工会とも相談しながら援助していきたい。

経済課長 商工会長の諮問機関として西口再開発調査会が、地元

業者や都の指導員等で組織され、商工対策の構想について調査研究を進めていくということである。

都市計画課長 西口については再開発の方法でないといけないと思ふ。その場合土地の価格が上昇しないと失敗するのではないかと

思われるが、公共施設整備計画との関連をもちながら、調査会の意見等を聞いていきたいと思う。

質問 商業振興になうのは従業員であり、楽しく安心して働ける制度や、福利厚生を充実することにある。そのためにも、中小企業従業員の共済制度を設置したらどうか。

経済課長 比較的規模の大きい企業では従業員の生活基盤安定のための任意制度ができていますが、こうした制度には財源確保や事務

量等の問題がある。現在商工会でやっている持定退職金共済制度や青年共済制度があるが、雇用安定策として結構であるので、検討していきたい。

私道の整備は

利用度の高い順

質問 市道の舗装率も九五%となったが、生活道路として利用されている私道の整備について聞き

共同アンテナの経費

国に要求していく

質問 ①基地の給水塔によるテレビ障害については、関係住民で組合をつくってアンテナの管理を

たい。

市長 そろそろ私道を整備する時期にきていると思うが、その条件として、公道と接続しているとか幅員の問題等があるが、利用度の高い道路からやることになると思う。



するとということだが、将来この共同アンテナの耐用年数がきたとか災害による被害は国で負担するの

か。②国でやっている一戸一室の飛行騒音による防音工事は、昨年十二月には五戸が申請、三戸が準備中とのことであったが、その後の状況はどうか。

環境保全課長 ①共同アンテナの耐用年数は十年であるが、災害時の保険制度に加入し、これら維持管理費について国に強く要求していきたいと思う。

企画財政課長 ②現在までに十戸が完成、その後三戸が申請され、本年度中には完成したいということである。線引きの再調査については、最初の調査がまだ八基地残っているので実施できないでいるが、横田基地を含め、四基地を再調査する方針は国でも変わっていない。

次の事項について、特段のご配慮を要望します。

一 市町村の負担とならない老人医療制度の早期抜本改善と交付金の増額。

二 高額療養費の満額交付。

▽昭和五十二年度市町村国民健康保険事業に対する補助金の増額に関する意見書

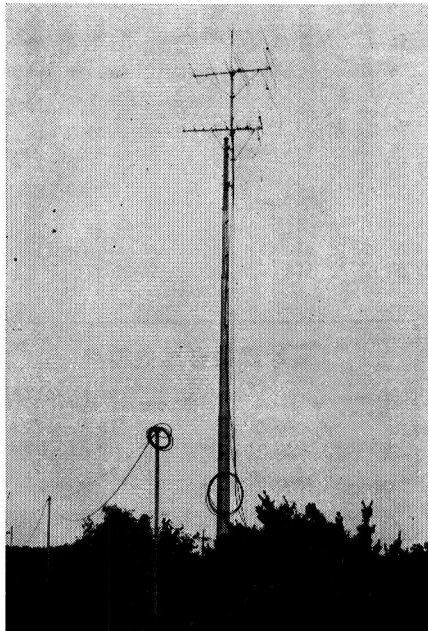
市町村国民健康保険事業は、相次ぐ医療費改定と経済事情の悪化により、制度発足以来、最悪の財政危機に直面しております。とりわけ、老人医療と高額療養費による給付の増加は、ますます国保会計を圧迫するものとなっております。

従来、都下市町村国保は、関係機関のご指導により、相携えて給付の改善、向上につとめてきましたが、住民の急激な負担増を避け乍ら地域医療の確保を図ることがきわめて困難な事態となっております。

法定給付費をはじめ、任意給付費、事務費等々、都費補助金に負うところは大きなものがある現状で昭和五十二年度については、大幅な増額方を期待し要望いたします。

▽国電青梅線、五日市線運行改善に関する意見書

近年、青梅線、五日市線沿線における人口の急激な増加に伴い、



電波障害解消用の共同アンテナ

質問 一戸の家で二台以上の工事は個人負担ということだが、原因者負担からすれば国が負担すべきだと思ふがどうか。

環境保全課長 二台以上のテレビについては、分配する機械をつければ、工事費もかからないので無料で設置したい。

国道十六号の拡幅

早い解決を要請

質問 ①米軍施設の関東集約計画も本年秋ごろには完了となり、基地周辺の交通は一層混雑してきたが、長年の懸案である国道十六号線の拡幅問題はどうか。

②基地の新ゲート開設について行政区域である立川市では反対の意向であり、当市は国への諸要求が認められたら検討するということになっているが、基地内道路も整備され、早晩この問題が再燃すると思ふがどうか。

市長 ①大変遅れていて申しわけない。防衛施設庁、建設省、米軍の三者が基地側への拡幅について折衝しており、早急に解決し着手するよう申し入れたい。

②ゲートを開設すれば十六号の交通緩和にもつながるが、市民感情等を考え、原則としては反対している。行政区域である立川市が了承し、警察側の交通問題が解決すれば、開設はやむを得ないと思ふ。

事業の防衛補助金

予定どおり内定する

質問 防衛施設庁が発表した第一次補助金のうち、福生の配分内容と、当初予算計上分について聞きたい。又昨年、自然保護の關係でできなかった玉川上水公園事業の見直しはどうか。

企画財政課長 本年度に要求したもののうち、牛浜のグラウンド整備に四百二十四万七千円の調査費、加美平団地を通る道路舗装工

土地の先行取得は

必要最小限度で

質問 地価の急とうから、公共用地として先行取得する目的で、四十八年に土地開発公社ができたが、土地取得に対する借入金利息は、四十九、五十年度を合わせて約五千万円にもなり、最近の低成長期ではせつかく安く買ってもかえって高いものになると思う。公社の売買価格や土地の保有面積はどのくらいなのか。

助役 地価が停滞している最近は、五年過ぎると購入価格の倍になってしまい、大変むずかしい時期にきている。目的の明確なものだけ購入してきたが、例外として代替地用に田園地区に現在約七千五百平方メートルが残っている。

工事費千四百七十九万四千円、一中裏の熊牛緑地買収費三千二百四十九万九千円(予定総額七億六千万円)、屋外運動場(ソフトボール場)用地買収費七千万円、西武拜島駅前の道路整備費千八百四十七万四千円が内定し、その外消防車購入費、中央幹線、武蔵野幹線の排水路工事費も確定すると思う。

予算面では、福生駅自由通路、テレビ共同受信施設工事費は確定し、一小、二小、一中、二中の温度保持工事及びサッシの取りかえ工事は設計費がついた。二小、七

用地課長 五十年度的においては買収価格は一平方メートル当たり平均五万七千四百円、又売却単価は、市営住宅建替計画の關係で分譲したのが一平方メートル当たり五万五千円から五万六千円、わがざり会館代替地として六万八千円東口区画整理關係で五万四千円から六万六千円となっている。

現在保有しているのは、田園地区に一万六千八百平方メートルを確保したうち、二千六百九十九平方メートルを売却、七千五百四十九平方メートルを保有、このほか屋外運動場の取得分が八百八十三平方メートル、その他五千二百五十三平方メートル、これらを合わせ合計一万三千六百八十五平方メートル、金額にして約六億九千万円の資産がある。

小、三中の防音工事も間違いなくつく。熊川地区の学習等共用施設用地費として四千七百万円の内示があったが、本町地区の分はまだない。仮称市民会館工事は継続事業であるので間違いない。

昨年年度でできなかった玉川上水公園事業については、現況では都の許可を得るのはむずかしい状況である。



幼児の六四%が虫歯

歯の休日診療を要望

質問 幼児の虫歯患者は、青梅保健所管内でも七〇%以上もいるとされている。これは親の責任もあると思うが、こうした幼児の虫歯予防の対策は考えているか。

市長 市内には、歯科医が十二カ所しかなく、いろいろ研究をしているが、早い機会にお願いはしてみたいと思う。

環境保全課長 歯のはえる二歳ごろから虫歯予防対策は必要であるとき、市でも六カ月、九カ月三歳児検診をやっているが、三歳児で昨年は六四%の子供に虫歯があったということで、母子相談や妊産婦に対して、特に虫歯対策としてPRや指導をしている。

都心への通勤、通学者は激増し、朝夕のラッシュ時に於ける混雑は言語に絶するものがあり、まさに殺人的な交通地獄の様相を呈しております。

この事については、数年来、再三にわたり意見を具申して参りましたが、未だ解決するに至っておりません。

地方自治制度の改革を研究して

反対に関する意見書

地方自治制度の改革を研究している地方自治調査会では、「住民の自治意識の向上に資するための方策」として、答申を行ったが、そのうち「地方議員の半数改選制」の制度化導入問題については、永年に亘って定着した地方議員特有の庶民の代表選出という、民主的選出制度の根底を揺がす極めて重大な問題である。

特に、最近の地方公共団体の行政面における住民の参与する機会、あらゆる分野で数多く取り入れられており、住民の意思は確に反映されているところである。かかる現状認識の上に於て現行の制度を改革することは、地方公共団体にとって、行財政に及ぼす影響は多大なるものがあるもので、ここに絶対反対を表明するものである。

第3回臨時会

— 4 月 2 3 日 —

この臨時会では、全部で5件の案件が審議されそれぞれ原案のとおり決定されました。

市長から提出された案件は、50年度事業の地方債が総額で1,130万円ふえたので、8回目の昭和50年度福生市一般会計予算の補正を、議会を開く暇がないとして市長が専決処分した旨の報告があり、又、国の地方税法が改正されたので、軽自動車税の引き上げとか、特別土地保有税、土地の固定資産税の特例関係など、福生市税賦課徴収条例及び都市計画税条例の一部改正案が出され、議員から住民に対する重税は反対であるとか、行政の応益から考え賛成であるという意見があり、起立採決したところ賛成多数で決定、又、今回原ヶ谷戸地区に面積 2,500平方メートルの公園が完成したので都市公園条例の中に加えようとする一部改正などであります。

又、議会側において、昨年5月から就任している議会運営委員会委員が、5月11日で任期切れとなるので、この臨時会で任期前改選できるよう委員会の要綱を一部改正し、現在の委員を再選して午後1時40分に閉会しました。

市職員の身障者採用

一般人と差別しない

患者数に対して歯科医が少ないため、市民の苦情等もあるが、やはり医師の協力が無いと問題解決にはならない。本年二月にも歯の休日診療開始についてお願いしているが、市民の健康維持のために努力したい。

質問 国において、身体障害者の雇用促進法が改正され、民間企業における身障者の雇用率は一・五%、官公庁は一・九%とされたが、当市役所ではどのような雇用状況か。

市長 市役所には、六人の身体障害者がいなければならないこと

校庭の夜間使用は 今後検討する

質問 ①市民参加によるスポーツ活動が大変盛んとなり、夜になると学校の体育館を利用する人が多くなっている。体育館内で練習ができないスポーツのため、各小学校の校庭に夜間照明を設置し

たいと思う。

一校が必要小中学校 学区の変更もする

質問 基本構想における将来人口は六万五千人が理想とされ、又最近の人口推移からみて、小中学

校の新設を考えていかなければならない時期と思うがどうか。

市長 小学校については昭和五十五年ごろ、中学校は五十七年ごろには一校ずつ開校する計画である。

教育長 過去の増加率からみて昭和六十年代の小学生は約六千三百人、中学生が二千七百人と推定され、文部省の標準規模からすると小学校八校、中学校四校となり、一校ずつ必要となる。新設する第八小学校の学区としては、青梅線より上の武蔵野地区を想定し、パランス上三小、六小の学区を变える必要がある。四中は一小と八小の学区につくる予定である。

助役 設置場所ははっきりしていないが、先行して用地を確保するため、土地開発公社で取得したい。


質問 福生駅東口区画整理事業も、不動産の移転によって急速に進展すると思う。さらに西口の再

開発も将来行われるとすると、今後代替地が必要となってくると思うが、その用地はどうするのか。

助役 土地開発公社において、代替地用として田園地区に五十年末で約七千五百平方メートルを保有しており、開発事業の見通しが立てば、具体的な土地について決めたい。



陳 情



▽ 継 続

◇陳情第一号 松生丸事件に関する陳情書

立川市羽衣町三十七ー一四 福田之保氏

一昭51・3・12提出

あとがき

暑中お見舞申し上げます。これから暑い日が続く、学校も長い夏休みに入りましたが、毎年心配のたねとなる非行問題について、各ご家庭でも、まさかうちの子が、とならないように十分ご注意ください。議会のお気づきの点がありませんらどうぞ。

〇四二五一一一五一一(代) 議会事務局